

要望書

四日市あすなろう鉄道について



令和6年1月

四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

「四日市あすなろう鉄道」は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、「鉄道事業再構築実施計画」の認定を受け、平成27年4月1日より公有民営方式で運行を開始し、9年目を迎えました。

令和5年度も法令で定められた車両の検査をはじめとした安全運行に欠くことのできない施設更新に必要な予算を要望通り配分いただいたことから、安定した運行や一層の利用者へのサービス向上を、引き続き、実現できることとなりましたことを大変感謝しております。

本市では、国の支援のもとで、車両やホームの改修をはじめとする、四日市あすなろう鉄道内部・八王子線の施設の更新や修繕など、利用環境の改善を進めさせていただいている中で、沿線の住民や学生などにより、四日市あすなろう鉄道を応援する様々な活動が実施されています。

例えば、内部線100周年・八王子線110周年を迎えた令和4年度には、これに合わせた地域団体の取り組みが行われるなど、イベントや市民ボランティアによる様々な活動が実施されており、市民・行政・事業者が一体となり鉄道を盛り上げております。

こうした取り組みにより、地域と鉄道との距離が縮まり、住民や利用者の鉄道に対する愛着も増していると実感しております。

「四日市あすなろう鉄道」は、地域から愛され、通学や通勤に必要不可欠な公共交通であるため、今後も、線路設備や電路設備等の鉄道施設整備に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

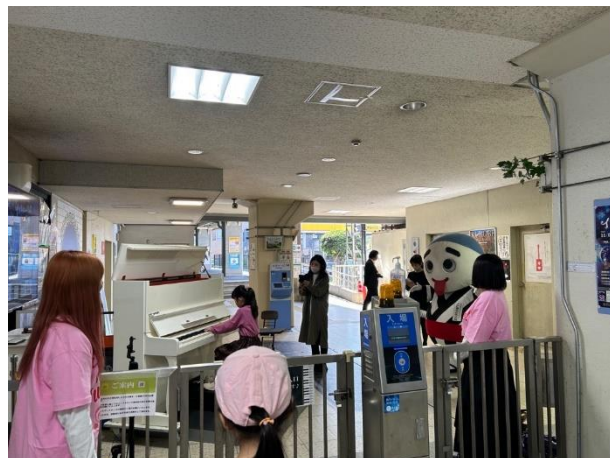
- 令和6年度も法令で定められた車両の検査をはじめとした安全運行に欠くことのできない施設更新に向け、引き続き、財政支援措置をお願いします。
- 令和6年度末で10年間の「鉄道事業再構築実施計画」が終了するため、令和7年度以降も安全安定な運行の継続に向け、これまでと同様の財政支援措置をお願いします。
- 車両の点検や修繕を行う施設（上屋含む）や機器など、現制度における補助対象外事業についても、補助制度への拡充をお願いします。

令和 6年 1月

四日市市長 森 智広



イルミネーション列車



地域団体による駅ピアノ



地域団体主催の内部線100周年講演会



ボランティアによる駅の美化活動